

■「やさしい日本語」とは？

れい じしん とき ひなんじょ かいわ
(例)地震の時、避難所での会話



げんかん 玄関で

つうじょう かいわ
〈通常の会話〉

職員：ここが「玄関」です。
ここからは、土足禁止です。

にほんご かいわ
〈「やさしい日本語」にかえた例〉

しよくいん げんかん
職員：ここが「玄関」です。
ここで 靴を ぬいで ください。

ばしょ わ あ 場所の割り当てで

つうじょう かいわ
〈通常の会話〉

職員：この辺で寝起きしてください。
荷物はなるべく片づけて、
貴重品は常に携帯してください。
食料配給の際はお知らせします
ので、玄関前においでください。

にほんご かいわ
〈「やさしい日本語」にかえた例〉

しよくいん ね
職員：ここで 寝て ください。
それから、荷物は ここに 置いて
ください。お金や 大切なものは
いつも 自分で 持って ください。
食べ物を 配る 時は 私たちが
「食べ物 です」と いいます。
「玄関」に 来て ください。

■なぜ「やさしい日本語」を使う必要があるのですか？

日本人と外国人とのコミュニケーションに役立てるためです。

「やさしい日本語」は、万能ではありません。どうしても通訳・翻訳しなければ、分からないことも、たくさんあります。でも、その場で、すぐに、伝えなければならないことや、聞きたいことがある時に、また、相手との関係づくりのために、まず「やりとりをしようとする」ことが大切です。そんな時、「やさしい日本語」は役立ちます。

■なぜ「やさしい日本語」を学ぶ必要があるのですか？

日本人と外国人の「感じ方の違い」に気づくためです。

日本人は、はっきり言うと相手に失礼ではないかと思いますが、外国人は、はっきり言われてもあまり気にしません。また、失敗したときに、日本人は「言い訳をせずに、まず謝る方がよい。」と思いますが、外国人は「まず、きちんと理由を話すべきだ。」と思います。「やさしい日本語」を使うと、この違いに気づくことができます。

日本人には感覚的にわかるけれど、外国人にはわかりにくい言葉があるからです。

例 「もっとはっきり返事をしてください。」→「もっと 大きな 声で 返事を して ください。」
「あぶないから手を出さないでください。」→「あぶない です。さわらないで ください。」

「はっきり」「手を出す」などは、外国人には、わかりにくい日本語です。

大分県立図書館作成 『「やさしい日本語」リーフレット』より抜粋

※「まなびの広場おおいた」にも「やさしい日本語」のリーフレットを掲載しています。